

助成対象事業成果概要報告書(概要版)

制度名	高齢者・チャレンジ向け通信・放送サービス充実研究開発助成対象事業
助成対象事業名	複数の視覚障害者によるリアルタイム要約筆記作業支援技術の研究開発
助成対象事業者名	NECシステムテクノロジー株式会社

[研究開発課題の全般について]

①	助成対象事業の概要	講演者の発話内容を文や句単位に複数の視覚障害者が分担して、即時に要約筆記を行い、その結果を集計及び欠落や誤記等を改修することにより、リアルタイムな要約筆記の実現を支援する共同作業環境の構築技術を研究開発する。
②	助成対象事業の目標	複数の視覚障害者がネットワークを通じて遠隔で共同作業をする形態において、リアルタイムの要約筆記や同時通訳(この場合は、外国語翻訳能力もあわせて必要となる)が可能になる共同作業環境を提供する。

[平成23年度実施部分について]

③	平成23年度助成金	10,018 千円
④	研究開発の実施内容	<p>①要約筆記作業スケジューリング技術 2者以上の口述筆記者がある場合における入力交代タイミングを口述筆記者のスキル能力により自動的に生成する。また、準備状況や入力状況を考慮した口述筆記者間の交代制御技術を研究開発し、評価実験を実施する。</p> <p>②要約筆記文章統合化技術 複数の口述筆記者が入力した文字を音声認識結果と比較照合、選別または統合する技術を研究開発し、評価実験を実施する。</p>

[平成23年度実施部分における研究開発課題の成果や評価結果について]

⑤	研究開発の成果	<p>① 要約筆記作業スケジューリング技術 「スキル登録機能」とスキルに基づいた「入力者制御機能」を試作・評価実験を実施。評価実験の結果から、要約(口述)筆記者のスキルに基づいた入力時間制御が正しく機能することを確認。また、予定外の機能として、要約筆記すべき音声を聞き逃しても聞き直すことができる「リフレイン機能」を合わせて開発。</p> <p>② 要約筆記文章統合化技術 複数の要約(口述)筆記者が入力した文章の入力内容を検証した上で割り当てられた順番に並べて、一つの要約筆記文として完成させることができることを確認。</p>
⑥	研究成果の応用状況、利用状況	今年度は、初心者/視覚障害者共通の基礎技術が完成した状況である。次年度以降、技術拡張した上で応用利用に向けた検討を進める予定。